

神戸学院大学×大丸神戸店

香り袋づくり体験

～地域と伝統産業 淡路の香りの世界～

講師:神戸学院大学 経済学部 経済学科 教授 関谷 次博
兵庫県線香協同組合 谷口 太郎



参加費:無料

※ワンドリンクの
ご注文をお願い
しております

2022年 9 月 17 日 (土) 15時 00分～ 16時00分

会 場:大丸神戸店 6階 M BASE BAR
(神戸市中央区明石町40番地)

対 象:高校生以上 / 定員5名(先着順)

【申込方法】

申込受付期間中に、以下のURLからご応募ください

https://www.daimaru.co.jp/kobe/topics/20220817_kaoribukuro.html
(右記のQRコードもご利用ください)

＜受付期間 2022年8月17日(水)～9月13日(火) 23時59分迄＞

※事前申し込みの受付は、大丸神戸店にて行っておりますので
事前申し込みに関するお問い合わせは、大丸神戸店にご連絡ください。



神戸学院大学×大丸神戸店

特別協力：兵庫県線香協同組合

M BASE 連携企画

「兵庫五国」と呼ばれる兵庫県は「摂津」「播磨」「丹波」「但馬」「淡路」の旧区分が統合した県です。大都市から農山村までさまざまな地域で構成されており、多様な気候と風土を通して育まれた産業にも地域毎に特徴があります。阪神・播磨の二大工業地帯における鉄鋼・造船・機械あるいは化学といった近代産業が発展してきた一方、郷土の歴史と伝統のなかで培われた技術による伝統産業が県内各地で育まれてきました。線香生産シェアが全国1位の淡路島には「香司（こうし）」とよばれる、香のマイスターが日本で唯一存在します。その理由には、「香木伝来伝承の地」と言われる「1本の流木」から始まった「日本の香り文化」の歴史が深く関わっています。一定の作法に従い香を鑑賞する「香道」。江戸時代に初めて国内で製造された「線香」。日本の香り文化は、時代と共に変化しながらも生活に寄り添い育まれてきました。今回のワークショップでは、兵庫県の伝統産業の一つ線香について「香り袋づくり体験」を通して学び、地域に根付く伝統産業について考えてみましょう。

「香り袋づくり体験」

～地域と伝統産業 淡路香りの世界～

2022年 9月 17日 (土) 15時 00分～16時 00分

<内容>

①「地域と伝統産業について」

講師：神戸学院大学 経済学部 教授 関谷 次博

②「日本の香りの世界～淡路島の香り歴史・香り袋づくり体験～」

講師：兵庫県線香協同組合 谷口 太郎



こちらのQRコードから
お申込みください



注意事項

※お申込みの際は、必ず以下の注意事項をご一読ください。

- 感染症拡大防止のため、「安全・安心の取組」へのご協力をお願いしております。
- 状況により、ワークショップを中止する可能性もございます。

当選者への通知の際に、詳細についてご案内致します。

おつくりいただいた「香り袋」は
お持ち帰りいただけます

プログラムの内容または、チラシに関するお問い合わせ先

神戸学院大学社会連携部

TEL 078 - 974 - 1348

E-mail renkei_info@j.kobegakuin.ac.jp

※事前申し込みの受付は、大丸神戸店にて行っておりますので
事前申し込みにご希望するお問い合わせは、大丸神戸店にご連絡ください。